

形式：対面セミナー

補足：配信はありません。会場にお越しの上、ご受講ください（会場が未定の場合は、お手数ですが、Webページでご確認ください）

ジャンル：食品

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 2 2 6 n 1

品質マネジメントシステムは導入してからが本番です。現在構築しているシステムを形骸化することなく、継続的に問題の解決や未然防止に活用するためのノウハウについて講師の自らの経験をベースに解説します。

『問題(クレーム)解決・防止』機能を向上させる！ 食品工場におけるマネジメントシステム・監査の有効利用法

講師： MANO 技術士事務所 代表 技術士（経営工学部門） 真野 仁孝氏

帯広畜産大学大学院修了、ハウス食品(株)入社。製品開発部門や品質管理部門に従事したほか、出向として、ハウスフーズ・アメリカ(株)R&D マネージャーや国内の充填包装受託会社の品質管理部長に従事。2019年4月より現職となり、品質・食品安全マネジメントシステムの審査員やシステム構築支援コンサルタントを行っている。技術士（国家資格：経営工学部門）のほか、HACCP普及指導員（日本衛生協会）等の資格を有す。

- 日程 2025年2月26日（水） 13:00～16:30（講演3時間／個別質疑・名刺交換の時間を設けます）
- 会場 東京 ※都内中心部で調整中
- 受講料 **33,000円（税込）** ※12/26（木）までにお申込の場合、**26,400円（2割引）**となります

<プログラム>

I. HACCP 制度化時代の食品工場品質管理に求められていること

1. 食品安全、ならびに現場の問題解決をするために必要なこと
2. 自事業所システムのPDCAサイクルを効果的に回し、より有効に活用するためには

II. 食品製造に応じた品質管理

1. 食品関係法令
2. 食品製造の種類と設計から製造まで
3. 食品の品質管理のポイント

III. 食品安全・品質マネジメントシステムとその活用

1. それぞれのマネジメントシステムの特徴と比較
2. マネジメントシステムを有効に活用するためには

IV. 第一者、第二者、第三者監査を問題（クレーム）の未然防止に繋げる

1. 第一者監査の目的と実施・活用ポイント
2. 第二者監査の目的と実施・活用ポイント
3. 第三者監査の目的と実施・活用ポイント

V. 問題解決手法とその実践的活用

1. 問題解決手法の種類と特徴（QC7つ道具、なぜなぜ分析等）
2. PDCAサイクルと問題解決手法の活用
3. 実践的に活用した事例

VI. クレーム再発防止対策について

1. クレームを分類し分析する
2. 発生原因と要因を洗い出し明確にする
3. 適切な修正と是正処置を設定するためには

VII. 内部監査とマネジメントレビューの活用

1. 問題課題の抽出
2. 改善案の設定とトップマネジメントのアウトプット

<習得知識>

- ✓ HACCPシステムをより有効に機能させるために必要なこと
- ✓ 食品安全・品質マネジメントシステムをより有効に活用するために必要なこと
- ✓ 食品工場の問題を解決する上で必要な手法（QC7つ道具、なぜなぜ分析等）
- ✓ クレームを再発させないために必要なこと

<講義概要>

2021年6月よりHACCP制度化が本格施行となり、食品製造事業所はそれぞれの事業所に応じたHACCPシステムを導入し実施している。しかしながら、そのシステムや対応が実践的で実際の業務に有効に機能しているか、あるいはシステムとしてPDCAサイクルが回り改善に結びついているだろうか。また、食品工場の品質管理部門はHACCPシステムの食品安全に注力することは当然のことであるが、本来の品質管理部門の重要な業務の一つである「問題解決」部分が機能していないため、お客様クレームの再発防止対策に結び付かず、結果として、クレーム件数や工程異常件数が減少していない組織が多数見受けられる。

本講座では、約35年間複数の食品事業所の品質管理部門に従事し、現在はISOやHACCPなどのシステムの審査員や構築支援を行っている講師により、現在構築している各社のシステムを形骸化することなく、継続的に有効に活用するためには何をすべきかを解説する。

事前に現在困っていることなど質問を頂ければ、講演の中で説明・解説します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/2/26 『問題(クレーム)解決・防止』機能を向上させる！食品工場におけるマネジメントシステム・監査の有効利用法		
会社名※			
所在地※ <small>(請求書等の送付先)</small>	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>(登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)</small>		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>(登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)</small>		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先：entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		